

木造住宅低コスト耐震改修 工法モデル事業勉強会

本当に低コスト工法は一般の耐震改修工法に比べて安く工事ができるのか!?

県では、低コスト工法に関する事業者向け講習会を平成27年度より毎年実施しております。今年度は低コスト耐震改修工法によるモデル事業を行い、その効果を実証したので、事業報告勉強会を開催します。奮ってご参加ください。

日時

2019年

2月8日 金 13:30-15:30

倉吉体育文化会館中研修室(倉吉市山根529-2)

講演

13:30~15:00

「鳥取県低コスト耐震改修工法
モデル事業の報告」

講師:南波一好(フォーディー設計合同会社)



事務局
お知らせ

15:10~15:30

「鳥取県における住宅耐震化の現状」
「住宅耐震化対策に関する補助制度の紹介」
「耐震リフォーム達人塾の紹介」

説明者:住まいまちづくり課 担当

ご予約
お問い合わせ

裏面を記入いただき、当課までFAXしてください。

鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課

TEL: 0857-26-7391 FAX:0857-26-8113

この用紙をFAXしてください。

2月1日 〆

鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課 行

FAX : 0857-26-8113

木造住宅低コスト耐震改修工法モデル事業勉強会 2月8日（金） 13:30～15:30

勤務先 (事務所名)		TEL	() -
勤務先 (所在地)	〒 -	携帯電話 (個人)	() -
(フリガナ) 受講者氏名			
鳥取県木造住宅耐震化 技術者の登録	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	建築士の種類	<input type="checkbox"/> 一級大臣登録 <input type="checkbox"/> 二級・木造()知事登録
			登録番号第 号

注：定員は先着順です。定員（100人）超過等で受講をお断りする以外、特にご連絡いたしません

住宅の耐震改修における低コスト工法の概要とコスト比較

○低コスト工法の特徴

- ・既存の壁や床、天井を壊さずに補強出来る。
- ・外壁撤去を行わずに外部から補強出来る。

⇒低コスト工法を採用すると、既存の壁や床等の復旧工事が不要となり、工事費や工期が縮減出来る。

壁全体で補強 (一般的な工法)		低コスト工法の一例		
		壁の一部で補強(床や天井を壊さずに施工)	外から壁を補強	
① 筋かいで補強	② 構造用合板で補強	③ 床と天井の間を構造用合板とL型アルミ型材で補強	④ 床と天井の間を火山性ガラス質複層板で補強	⑤ 外部から金属のブレースで補強
(参考)一般的な工法である「①筋かいで補強」とのコスト比較				
①	②	③	④	⑤
100%	73%	37%	69%	46%
一般的な工法でも、押入などの仕上げを気にしなくてよい箇所を中心に補強するなど、合理的な設計によっても、工事費を抑えることが可能！				
木造住宅低コスト耐震補強の手引き(愛知建築地震災害軽減システム研究協議会)より作成				